

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

2022年度第1四半期（4-6月）

決算説明資料

2：事業説明

2022年8月3日

2-01 事業概要

2-02 成長戦略

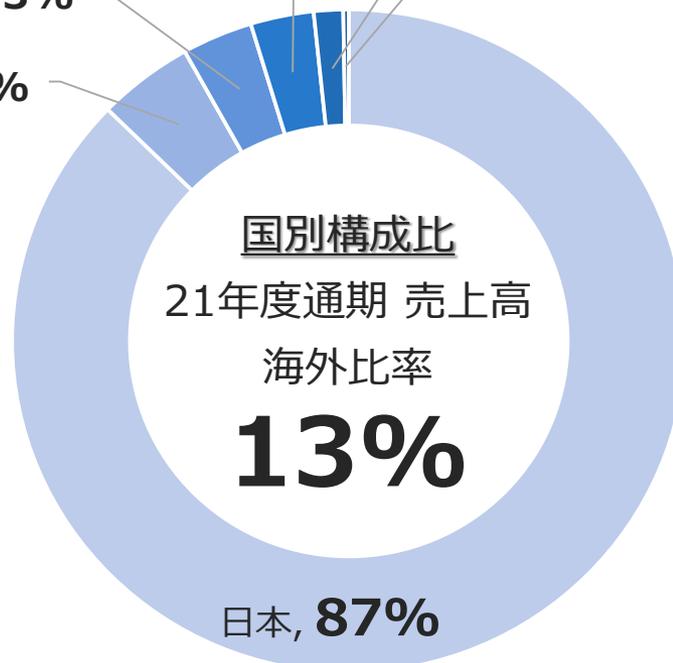
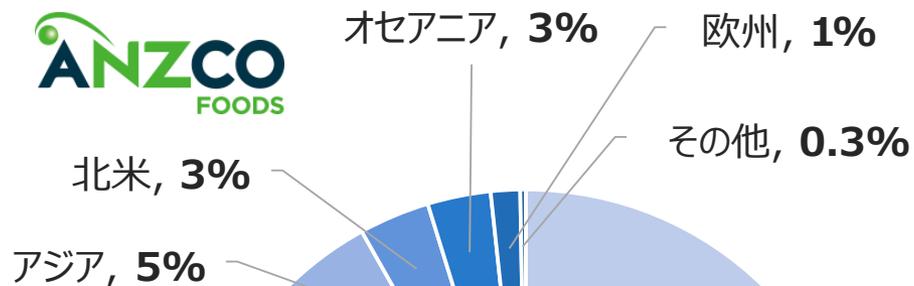
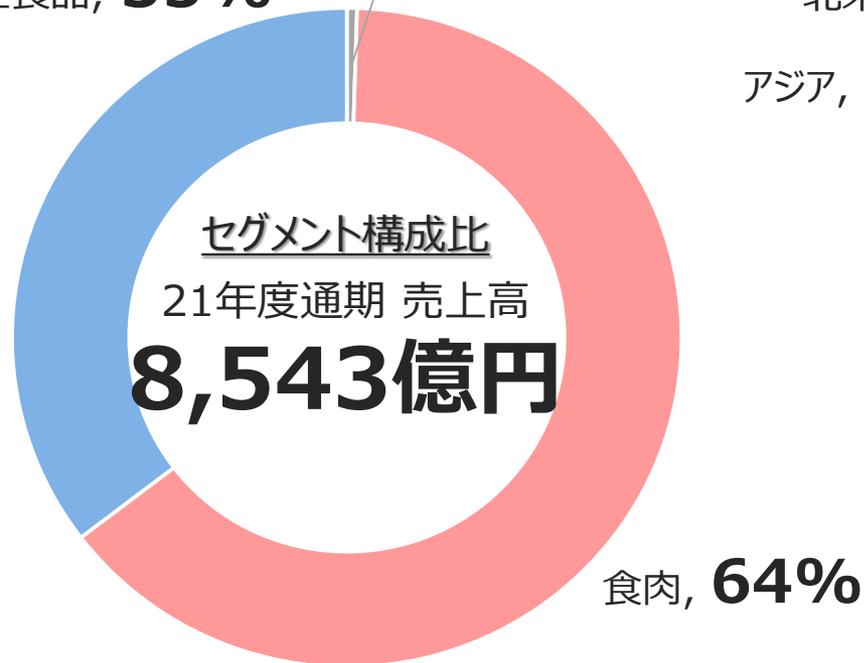
2-03 サステナビリティ

2-01 事業概要：事業ポートフォリオ

- ✓ 売上高の35%を加工食品事業、64%を食肉事業が占める。
- ✓ 海外比率は13%を占め、アンズコフーズ社を軸に展開。



加工食品, **35%** その他, **0.5%**



2-01 事業概要：加工食品事業

- ✓ 『業界初』『世界初』など、世の中になかった新しいものを生み出してきた。
- ✓ 統合後、両社の商品開発力を活かし、ノンミート事業を始め新規事業にも注力。

伊藤ハム

1928 創業者の伊藤傳三が大阪府大阪市北区で伊藤食品加工業を個人創業

1934, **業界初!**
「セロハンウインナー」の開発（現在の「ポールウインナー」）



1983, **業界初!**
チルドタイプピザ「フレッシュピザ」新発売



1988, **世界初ミニサイズ!**
「ポークビッツ」誕生



2020, **ノンミート** 市場本格参入!
2021年度売上高前年から50%拡大

米久

1965 創業者の庄司清和が静岡県沼津市川瀬町で米久食品を個人創業

1977, 業界に **先駆け**
真空調理製法で仕上げたローストビーフを生産開始



1981, **日本初!**
生ハムの専用工場「御殿場工場」現・ふじやま工場）導入



1995, **他社にはない**
「山賊のスペアリブ」発売（骨付きスペアリブ）



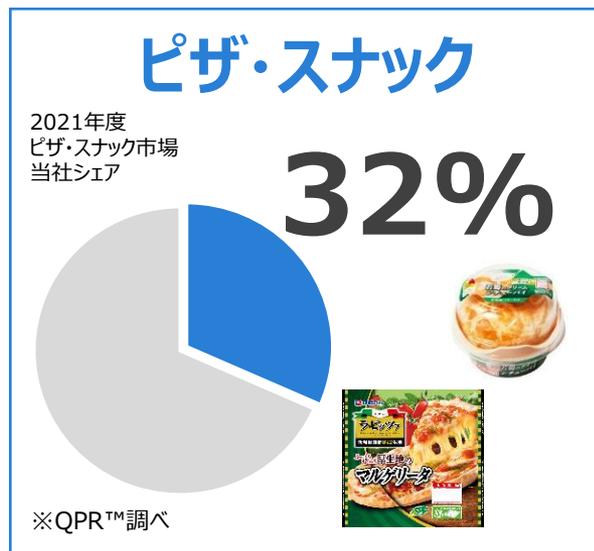
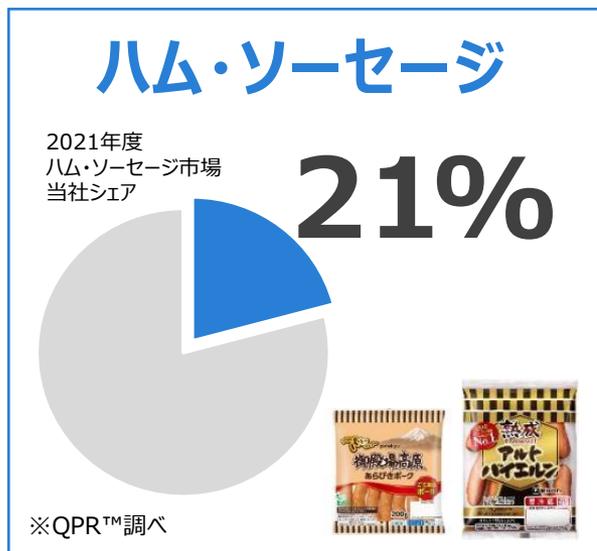
2016 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社設立

2020



2-01 事業概要：加工食品事業

✓ ハム・ソーセージ（シェア21%）、畜産調理（16%）、ピザ・スナック（32%）をはじめ、幅広いラインアップを揃える。

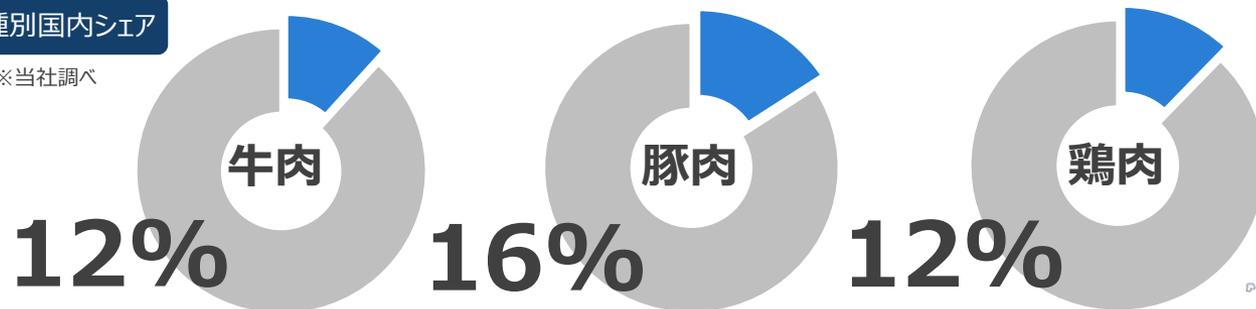


2-01 事業概要：食肉事業

- ✓ 牛・豚・鶏をフルラインアップで揃え、各シェア10%以上を占める。
- ✓ 食肉の生産から販売まで強固なサプライチェーンを構築し、事業の安定性を高め、付加価値のある商品を生み出す。

畜種別国内シェア

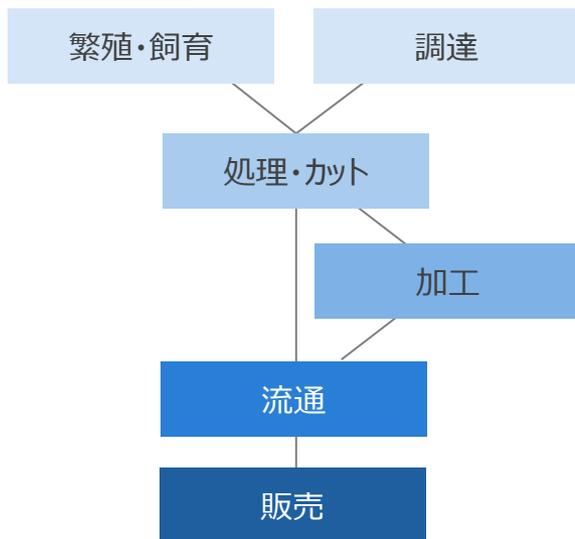
※当社調べ



生産・加工拠点分布



食肉生産フロー



和牛輸出

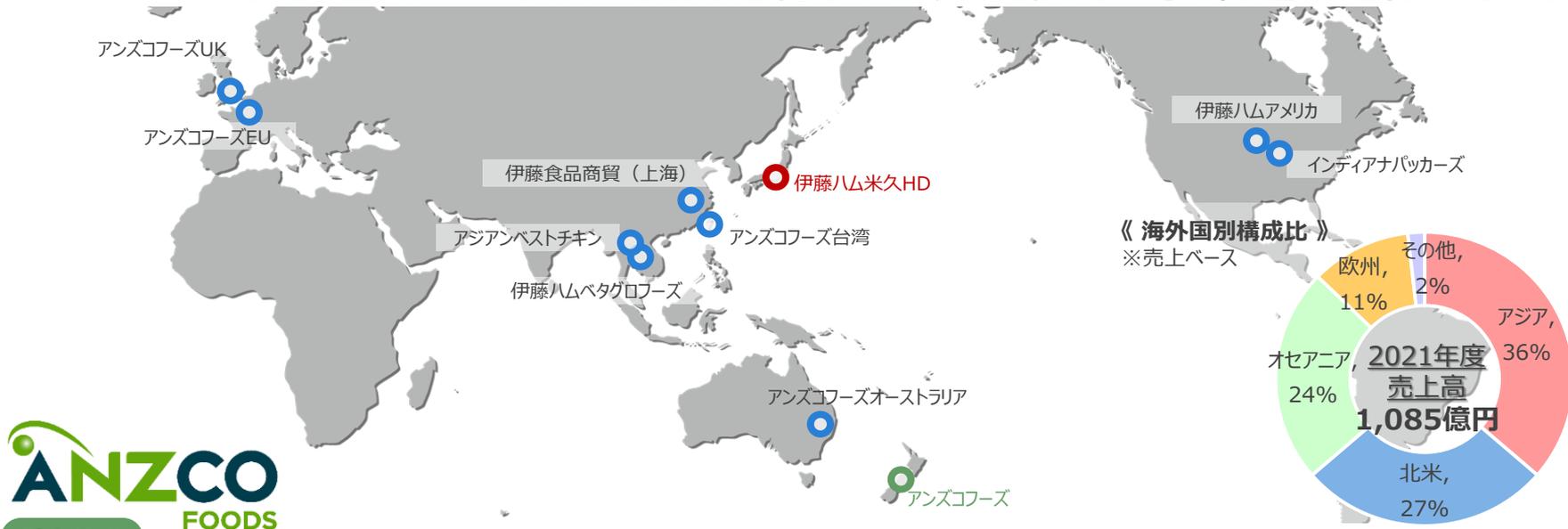
ブランドミート

多様な商品

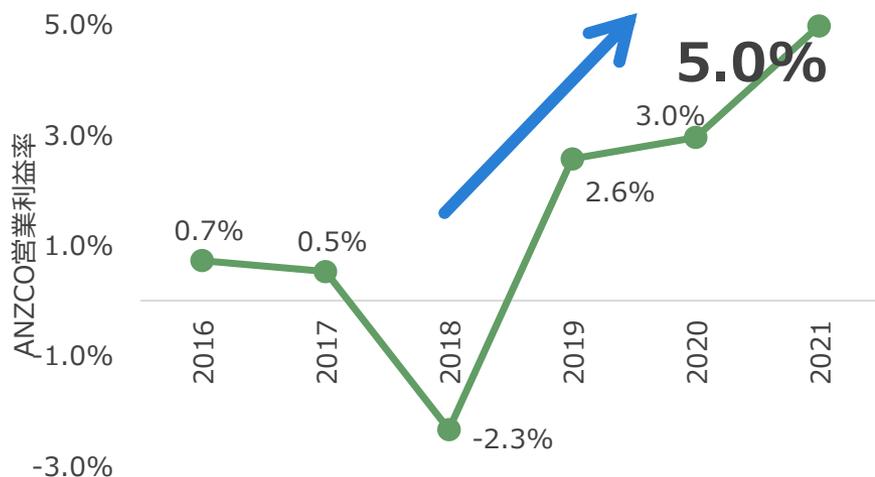
副原料の活用

2-01 事業概要：海外事業

✓ 9つの国及び地域に11ヶ所の拠点を有し、世界規模での事業運営を行っている。



Pick Up!!



アンズコフーズ社は **80**ヶ所以上の国及び地域に製品を提供している。



2-01 事業概要

2-02 成長戦略

3-03 サステナビリティ

2-02 成長戦略

- ✓ 既存事業の強化と共に、今後成長が見込まれる周辺事業領域へ経営資源を再配分することで、グループ全体の成長力を高めていく。

領域	取り組み内容
加工食品事業	<p><u>収益性の改善、成長市場を捉える</u></p> <ul style="list-style-type: none">◆ 主要ブランドの強化◆ 調理加工食品の強化 → 常温・冷凍食品にも拡大
食肉事業	<p><u>川上分野への投資をベースに事業を強化</u></p> <ul style="list-style-type: none">◆ 和牛輸出事業の強化◆ ブランドミート販売の強化◆ 食肉エキス事業への進出
健康軸のご提案	<p><u>既存事業と親和性の高い周辺領域における、健康軸提案</u></p> <ul style="list-style-type: none">◆ Moregate社 動物由来血液製剤事業の取得◆ ノンミート事業の強化◆ たんぱく質摂取推進の取り組み

2-02 成長戦略：加工食品事業

- ✓ 主要ブランドを強化する事で、厳しい環境下での安定した利益創出に繋げる。
- ✓ 調理加工食品は、冷蔵品だけでなく、常温品、冷凍品の取り組みを強化する。

現状・これまでの取り組み

今後の取り組み・方針

◆主要ブランドの強化

22年度1Q金額前年比

- ・ The GRAND アルトバイエルン ▲3.0%
- ・ 朝のフレッシュ +7.9%
- ・ ポークビッツ／チーズイン +10.0%
- ・ ラ・ピッツァ／ピザガーデン ▲8.3%
- ・ 王様のローストビーフ +44.0%

大袋商品強化、**30-40代**ターゲットのプロモーション

健康訴求アイテムの拡充、プロモーション

親子の時間を楽しく応援CP実施などプロモーション

商品改廃およびリニューアルによる**収益性の改善**

惣菜・米飯向け販売強化、売場の拡大



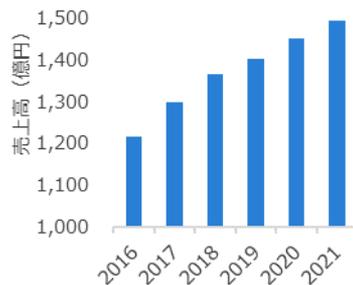
◆調理加工食品の強化 → 常温・冷凍食品にも拡大

2021年度 調理加工食品
2016年度対比

+19%



《調理加工食品 売上推移》



おいしさの追求と
常温品、冷凍品強化



2-02 成長戦略：食肉事業

- ✓ 川上分野への投資をベースに、今後伸長が見込まれる、和牛輸出事業、ブランドミート販売、畜肉エキス事業を強化する。

現状・これまでの取り組み

今後の方針・取り組み

◆ブランドミート販売の強化

《 近年の主な設備投資 》

- 2017年 「米久おいしい鶏」 生産農場新設
- 2019年 「サンキョーミート」
牛カット場新設、豚増産体制構築
- 2022年 「十和田ミートプラント」
牛と畜カット場新設



ブランドミート販売強化

自社農場、自社処理施設の
ブランドミート比率を上げ、
食肉粗利向上を図る



◆和牛輸出事業の強化

2021年度和牛輸出货量
2016年度対比

《 和牛輸出货量推移 》
※売上ベース

+77%



輸出認可取得施設を増やす事で、

和牛輸出を促進

- 国内最大規模の輸出処理施設サンキョーミートは
世界**48の国と地域**への輸出認可をもつ



◆食肉エキス事業への進出

新規事業領域への取り組み開始

畜肉エキス事業

- 2022年度稼働開始予定



中食・外食市場で使用
されるエキス調味料の需
要拡大に対応。



2-02 成長戦略：健康軸のご提案

- ✓ 副産物の有効活用、既存技術の応用など、親和性の高い健康・ヘルスケア領域に経営資源を再配分し、新たな価値の提供と、グループの成長力向上を目指す。

現状・これまでの取り組み

今後の方針・取り組み

◆ Moregate社 動物由来血液製剤事業の取得

牛由来血液製剤
生産量企業別
世界シェア

2位

- 動物由来血液製剤は、ワクチン、再生医療、臨床診断向けに高い成長が見込まれる。



血液だけでなく、牛心膜やアキレス腱などの副産物も活用
ヘルスケア領域の取り組みにより
アンズコフーズ社収益力の強化



◆ ノンミート事業の強化

2021年度売上高前年比

+50%



- 他社との積極的な協業などにより、商品価値向上に繋がってきた。

商品ラインアップの強化
他社との積極的な協業
よりお肉に近い商品の開発



◆ たんぱく質摂取推進の取り組み

『TANPACTシリーズ』2021年度売上高前年比

+30%



- 株式会社明治の「TANPACT による企業間連携」に賛同し、「TANPACT」シリーズを開発・販売

明治、マルハニチロと協業、
『めざせ1日80g！たんぱく摂ろう会』
たんぱく質コンソーシアム設立

《 参画企業 》 株式会社 明治 / マルハニチロ株式会社 / 伊藤ハム米久HD株式会社

- たんぱく質の価値啓発に繋がる活動を行う

めざせ1日80g!

たんぱく
摂ろう会

2-01 事業概要

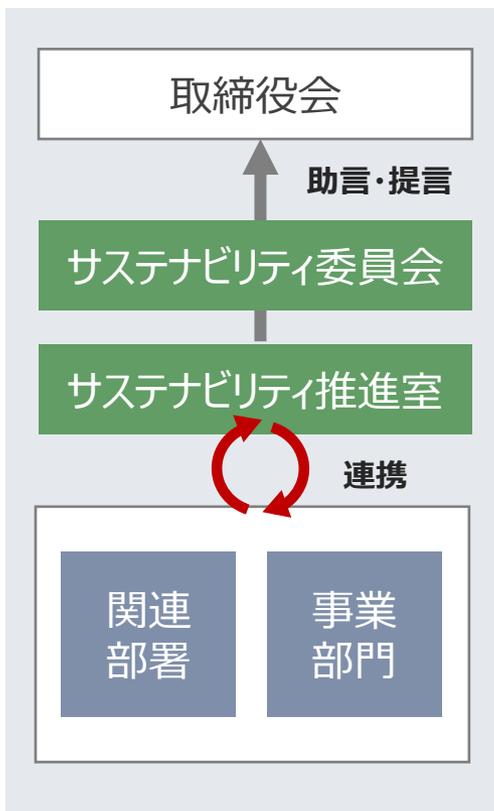
2-02 成長戦略

2-03 サステナビリティ

2-03 サステナビリティ：推進体制

- ✓ 担当役員を委員長とした「サステナビリティ委員会」を設置、サステナビリティ経営を推進。
- ✓ 2022年4月、事業部門と連携し、社会課題に対処する専門部署サステナビリティ推進室新設。

サステナビリティ推進体制



7つのマテリアリティ

「ステークホルダーにとっての重要度」と「伊藤ハム米久グループにとっての重要度」の観点から重要な社会課題を抽出し、中でも特に優先度の高い7つの課題をマテリアリティとして特定

マテリアリティ

健やかで豊かな食生活の実現

- 安全・安心な食品の提供
- 良質なたんぱく質の提供
- 多様なライフスタイルに対応した商品開発と健康価値の提供
- 食品ロス低減につながる商品の拡大

地球環境への配慮

- 温室効果ガス排出量の削減
- エネルギー・用水使用量の削減
- 廃棄物排出量の削減
- 生物多様性の保全
- プラスチック使用量の削減

従業員一人ひとりが活躍できる 職場づくり

- 人材開発・育成
- ダイバーシティの尊重
- ワークライフバランスの推進
- 労働安全衛生・健康管理・人権尊重

持続可能な調達と安定供給の 推進

- 持続可能な畜産産業への貢献
- 人権を尊重した調達の推進
- アニマルウェルフェアへの配慮

地域社会への貢献

コーポレート・ガバナンスの強化

- コンプライアンスの遵守・推進
- リスクマネジメント

妥協しない美味しさと高品質への こだわり

2-03 サステナビリティ：取り組み事例

✓ マテリアリティ【地球環境への配慮】に対応し、下記取り組みを行っている。

◆肉用牛生産における温室効果ガス削減可視化システム構築事業への協力

持続可能な牛生産事業を目指す



協力農場「みらいファーム」は、牛のゲップ中のメタンを抑える働きのある天然素材由来のカシューナッツ殻液飼料（ルミナップ®※）の給餌実験に協力。



カシューナッツ殻液混合飼料「ルミナップ」
※ルミナップ®は株式会社エス・ディー・エス バイオテックの登録商標です。



協力農場「みらいファーム」

◆エネルギー効率の高い設備の導入

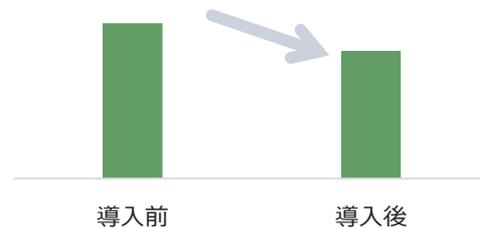
廃油ボイラー導入

導入工場における
重油使用量

20%削減

今後も、エネルギー効率の高い設備導入を進める。

《 廃食油ボイラー使用による重油削減効果 》



廃食油
ボイラーイメージ



◆巾着形態商品を環境配慮型包材へ

対象商品全体の
プラスチック使用量

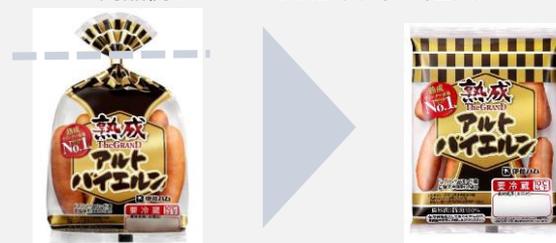
30%削減

配送積載効率
従来比

1.2倍に改善

※見込み値

商品例：The GRAND アルトバイエルン



2-03 サステナビリティ：取り組み事例

✓ マテリアリティ【持続可能な調達と安定供給の推進】に対応し、下記取り組みを行っている。

◆伊藤ハムと三菱商事ライフサイエンスの合併会社「九州エキス株式会社」稼働開始

処理の過程で出る**骨など副産物を有効活用**

新規事業領域として畜肉エキス調味料を製造・販売



畜肉エキスおよび調味料製品を製造・販売する九州エキス株式会社を鹿児島県曽於郡大崎町に設立



◆Moregate社 動物由来血液製剤事業の取得

処理の過程で出る**血液、心膜などの副産物を有効活用**

アンズコフーズ社 ヘルスケア事業



動物由来の**血清、精製タンパク質、酵素**といった製品の製造・供給を行う。



環境保全先進国であるニュージーランドに拠点を置くアンズコフーズ社では、気候変動及びサステナビリティへの積極的な取り組みを行っている。

お問い合わせ先

〒153-8587 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

広報 I R 室

電話：03-5723-6889

会社HPからもお問い合わせいただけます。

<https://www.itoham-yonekyu-holdings.com>

本資料において掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略等のうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものであることをご承知おきください。

なお、本資料の情報は投資家の皆様に当社への理解を深めていただくことを目的とするものであり、投資勧誘を行うものではありません。

また、掲載された内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん等があった場合、さらにデータのダウンロード等によって障害が生じた場合に関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。